

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	日本語の代名詞
Author(s)	カノツカモン ラウハブラナキット,
Citation	日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集, 1993 : 13 - 24
Issue Date	1994-03-01
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00039344
Right	
Relation	



日本語の代名詞

カノッカモン ラウハブラナキット

はじめに

言葉がよくわかるために、その国の文化も勉強しなければならないと言われている。芳賀やすし（1984：4）は言葉と文化 社会の深い関係について、次のように言った。

社会は言語とともにある。言語は社会とともにある。日本語と同時存在をつつてきた社会は、日本民族の社会（一国家）である。第一的には、これが、日本語の使われる環境としての社会である。日本語は日本社会とどのようなフィードバックの関係にあるか。つまり、日本社会はどんな社会で、どんな風に日本語に反映しているのか。そしてまた逆に、日本語はどんな言語で、日本社会のあり方をどう制約しているか。それぞれのしゃかいごとに見られる独自の意識の型、行動の型、生活様式やその所産・・・と言ったものが、いくつもの科学の分野で<文化>（culture）と呼ばれている。そうすると、言語は文化の性格に影響されるから、日本語は日本文化をうつす鏡だと称してよい

代名詞も日本語のある部分である。日本文化がよくわかるために、日本語の代名詞から勉強してもよいと思う。日本語の代名詞はどのように日本人の考え方や日本社会・文化をうつしているかを調べるために、テレビ番組で使われていた代名詞を採取すると共に日本人に直接にアンケートを実地した。

テレビからの日本人の代名詞の使い方

16 時間ぐらいのいろいろなテレビ番組〔平成4年10月から平成5年1月にかけての、ドラマ 13本、約13時間、アニメ 4本、約1時間、インタビュー2本約1時間、映画 1本 約1時間〕を録音して、誰と誰がはなしているか、どんな時にはなしているかなどのことを整理に、表1にまとめた。

テレビで用いられた代名詞の使い方は次のようなことを表している。

1. 男性と女性の代名詞の使い方は違う。例えば、女性は「おれ」と「おまえ」「ぼく」という代名詞を使わない。一方、男性は「あたし」を使わないようである。
2. 代名詞の使い方は話し手と相手の社会的な立場と年齢によって違う。例えば、社会的の低い人は社会的の高い人に「あなた」「きみ」を使わない。それに、そういう代名詞は年上の人にも使わないようである。

表 2

代名詞	人称			性			立場(話し手より)						年齢(話し手より)						丁寧さ						
	単 数	複 数	1	2	3	話し手		聞き手		第三者		聞き手			第三者			1	2	3	4	5			
						男	女	男	女	男	女	上	同	下	上	同	下						上	同	下
						+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-						+	-	+
1. わたくし	+	+				+	+					+	+	-	+	+	-	+	+	-	+	+			
2. わたし	+	+				+	+					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
3. ぼく	+	+				+	-					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
4. あたし	+	+				-	+					-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
5. おれ	+	+				+	-					-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
6. わたくしども	+	+				+	+					+	+	-	+	+	+	+	+	+	+	+			
7. わたしたち	+	+				+	+					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
8. わたくしたち	+	+				+	+					+	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
9. ぼくたち	+	+				+	-					-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
10. ぼくら	+	+				+	-					-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
11. あたしたち	+	+				-	+					-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
12. おれたち	+	+				+	-					-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
13. あなた	+					+	+					+	+	+				-	+	+	+	+			
14. あんた	+					+	+					-	+	+				+	+	+	+	+			
15. きみ	+					+	+					-	+	+				+	+	+	+	+			
16. おまえ	+					+	+					-	+	+				+	+	+	+	+			
17. あなたがた	+					+	+					+	+	+				-	+	+	+	+			
18. あなたたち	+					+	+					+	+	+				-	+	+	+	+			
19. きみたち	+					+	+					-	+	+				-	+	+	+	+			
20. きみら	+					+	+					-	+	+				-	+	+	+	+			
21. おまえたち	+					+	+					-	+	+				+	+	+	+	+			
22. あんたたち	+					+	+					-	+	+				+	+	+	+	+			
23. あんたら	+					+	+					-	+	+				+	+	+	+	+			
24. かれ	+					+	-					+	+	+				+	+	+	+	+			
25. かのじよ	+					+	-					+	+	+				+	+	+	+	+			
26. かれたち	+					+	-					+	+	+				+	+	+	+	+			
27. かのじよたち	+					+	-					+	+	+				+	+	+	+	+			
28. あいつ	+					+	+					-	+	+				+	+	+	+	+			
29. やつ	+					+	+					-	+	+				+	+	+	+	+			

(4)

日本人の代名詞の使い方

今度は、日本人（20代の男 5 人、女 5 人）に直接に代名詞の使い方についてのアンケートを実地したアンケートの結果は、表 2 に示した。

アンケートの結果による、日本人が代名詞を使う時に、自分、相手と第三者はどの性、どんな立場、何才、代名詞の丁寧さはどんな程度でいいか、などのことを考えてから、ちゃんと代名詞を使うようである。

表中では、+と - の記号を用いた。調査された人の10人の中に、8-10人の結果は、+、5-7人の結果は、±、2-4人の結果は、干、0-1人の結果は、とした。

単数と人称の分け方は、アンケートに含めていない。David Ashworth [1981] の代名詞の類型学的研究では、日本語は、一人称単数、一人称複数、二人称単数、二人称複数、三人称単数、三人称複数の「六代名詞体系」の言語とされており、ここではこの分類法を採用した。

但し、別の分類法もある。例えば、三宅 [1983] では、「人称とは英語のパーソンの訳であり、パーソナル・プロナウンは「人称代名詞」と訳されているが、わたしとしては、「自位、対位、他位」で十分と思う。」と述べている。

日本語の代名詞から見える日本人の考え方

テレビで用いられた日本人の代名詞の使い方とアンケートの結果による、日本語の代名詞は他の言葉の代名詞のように人称、単数、性によって使い方が違う。でも、それだけではなく、日本語の代名詞は話し手、相手、第三者の年齢、社会的立場、丁寧さによっても使われている。それは、日本語の代名詞の特徴とも言える。

やはり、日本人が自分の意識で適当な代名詞を選んで使う。その意識が日本人の考え方だと思う。日本人が性、年齢、立場、丁寧さによって、違う代名詞を使うことがどんなことを表しているか、次のようなことにまとめることができた。

1. 上下の意識

これは、年上や社会的立場の高い人に対しての代名詞の使い方を見てから、分かる。例えば、アンケートによる、[おれ]という一人称代名詞は絶対話し手より立場や年齢の高い人に使われない。逆に、話し手より立場や年齢の低い人に使うことができる。それから、[あなた] [あんた] [きみ] [おまえ]という二人称代名詞も話し手より立場や年齢の高い人に使わない。

なぜ日本人が自分より立場、年齢の高い・低い人によって、違う代名詞を使うのかというと、日本人が上下の意識を持っているからである。

国松治男（昭和60年）「待遇表現」では、次のように述べている。

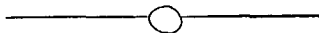
私たちは、日本語を母国語としてもつ集団に属し、社会での諸行動を通してそれぞれに人間関係を作っている。そしてここでは、ことばによるコミュニケーションが行なわれ連絡・調整される。いわゆる言語行動というものはこれに当たるのであるが、なかでも代名詞の使用は、日本社会の構造的側面である人間関係の制約を非常に強く反映しているものであるといわれている。たとえば、地位とか身分に対する [上下の意識] である。

[上下の意識] ということは [恩恵・被恩恵] の意識も関係ある。国松は、このことについて、次のように言った。

社会行動（経済・政治・日常生活・家族・性愛・精神など）の上で、どんな人間関係の中に、互いに恩恵・被恩恵の意識をより多く意識するであろうか。

売り手—買い手、家主—借家人、金を貸す人—借りる人
 紹介者—被紹介者 教師—学生 先輩—後輩
 親—子 医師—患者 指導者—指導される人
 タテの人間関係を、一応「上（恩恵）：下（被恩恵）」とし、次のように示すことにする。

上（恩恵）



下（被恩恵）

（注）0 は「話し手」を示す

2. うち・よその意識

テレビ番組による、同じ立場・年齢の男でも、女でも、場合によって、違う代名詞を使うそうである。たとえば、Aさん（男）とBさん（男）は親しい友達、同じクラスの中で勉強して、Aさんは自分のことを [おれ] と呼び、Bさんのことを [おまえ] と呼んだ。でも、Aさんはあまり親しくなく、別のクラスの友達 Cさん（男）に話すときには、自分を [ぼく] と呼んで、Cさんの名前を呼んだ。Aさんの代名詞の使い方は親しさによって違う。[ぼく] と [おれ] の特徴はだいたい同じ、たとえば、二つとも一人称代名詞、単数、男が使う代名詞だけど、一番大きな違いは丁寧さである。AさんはBさんに対して、親しい友達で、自分と同じグループの人だと考えるでしょう。逆に、Cさんに対しては、別のグループの人だと感じるだろう。

(6)

それは日本人のうち・よその意識のひとつの例である。普通、丁寧さの高い代名詞は話し手のよその人に使われて、丁寧さの低い代名詞は話し手のうちの人に使われる。

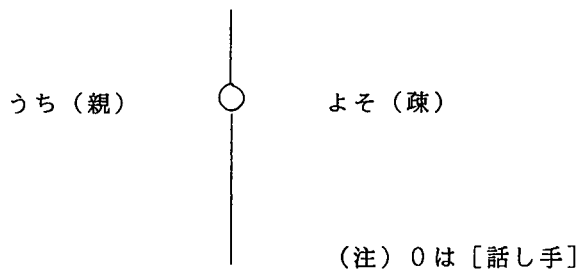
さて、うち・よその考え方と日本社会に関係あることについてもっと詳しく話しましょう。国松「待遇表現」では、

うち・よそはヨコの人間関係である。[うち]というのは、三つの意味に分けることができる。a. 身内(夫婦・家族・親族) b. 自分の属している職場・集団・機関・組織体 c. 自分の属している組織体(たとえば、経済・科学・教育・医療・宗教・芸術・娯楽・政治などに関する)にはいつている。

話し手・聞き手・話題の人が同一の集団に属しているかいないかによって、うち・よその意識が生じる。また、ある機構に完全には所属していなくとも、利害関係の上で何らかのやりとりの関係がある場合には、ある程度の、うち・よその意識が生じているようである。

この、いわゆる[仲間意識:よそ者意識]とも言えるものは、場面を構成する要素からみた場合、他の要素である心理的な要因(親しい・親しくない、親:疎)ともかかわりをもつものである。ただし、この親:疎の問題は、前述の社会構造の面からとらえた人間関係[うち:よそ]以外のことがらとも関係してくる。

ヨコの人間関係を、一応[うち(親):よそ(疎)]として、次の図で示すことにする。



3. 女の立場と男の立場の違い

テレビ番組とアンケートの結果によると、日本人が男、女によって、代名詞を使い、また、男、女に対しても、違う代名詞を使うようである。

たとえば、男は自分を呼ぶときに、[わたし]、[ぼく]、[おれ]という代名詞を使う。女の場合は、[わたし]と[あたし]だけ使う。それに、相手を呼ぶ場合は、女のほうが男より[あなた]、[あんた]という代名詞をよく使う。でも、女は相手を[おまえ]と[きみ]と呼ばない。

井出は、以上と同じことを次のように言った。

日本語には、自分のことを指すことばがいろいろある。「わたくし」、「わたし」は男にも女にも使われるが、「ぼく」、「おれ」は男に、「あたし」は女に使われている。男が「わたし」を使う時は、あらたまった時である。それにくらべ、女は「わたし」を一番くだけたときにも使っている。男は、くだけたことばとして、「ぼく」や「おれ」を持っている。「わたくし」や「わたし」はフォーマリティーの度合の高いことばだが、男はそれをあらたまった時だけに使っている。それにくらべ、女は「わたくし」、「あたくし」、「わたし」、「あたし」と、いずれも「わたくし」が少しくずされた形だけを使っている。つまり、自分を指しているとき、女の方がフォーマリティーの高いことばを使っているということになる。事実、日常の会話で最もよく聞かれたのは、男の「ぼく」に対し、女の「わたし」であり、このフォーマリティーの差が男と女の丁寧さの差になっている。

相手のことを指すことばにも同様のことが言える。「あなた」、「あんた」は男にも女にも使われている。男はこの他に「きみ」、「おまえ」、「きさま」、「てめえ」などを使う。「きみ」以外はみなフォーマリティーの低いことばで、くだけた時や話し手が相手のことを見下している時に使う。「あなた」は相手を指すことばとしては最もフォーマリティーが高い。女はこの「あなた」とそのくずした形「あんた」だけを使っている。丁度自分を指すことばと同じように、相手を指すことばにおいても女はよりフォーマリティーの高いことばを使っている。

男と女の代名詞の使い方の違いは、日本社会にいる男と女の差を示す。日本は男性天国だと言われている。男は女より社会的立場が高い。男の世界は仕事の関係について、上下意識、ウチ・ソト意識を持ち、一方、家庭をまもる女の世界は、主婦としての役割しか持っていない。だから、社会的に男のほうが女よりずっとよく認められている。男の世界と女の世界は違うから、女は敬語やフォーマリティーの高いことばを豊かに使用して、自分を少しでも上のランクに見せようとするに関心が高くなる。

(8)

おわりに

日本語と日本文化・社会とは深い関係にある。代名詞の研究によりその証明をすることもできよう。日本文化・社会を理解するためには、いろいろな方法がある。代名詞の研究も一つの方法であろう。

日本語の代名詞の使い方、日本人の考え方、意識、日本社会がわかるようになる。それは、「一石二鳥」のことだと思う。それに、日本人の意識が分かったら、国際理解をもたらす。私が外国人として、それは、非常に役に立つことだと思う。

参考文献

- 1) 波多野完治ほか監修、「新・日本語講座10、ことばと文化・社会」 汐文社、1981年。
- 2) 水谷修ほか監修、「話しことばの表現」 筑摩書房、1983年。
- 3) 鈴木孝夫ほか監修、「日本語の語彙と表現」 大修館書店、1985年。
- 4) 芳賀やすしほか監修、「社会の中の日本語」 大修館書店、1984年。
- 5) 青木保、「日本文化論の変容」 中央公論社、1990年。
- 6) 古田ほか監修、「異文化コミュニケーション」 有斐閣、昭和63年。
- 7) 国松治男ほか監修、「待遇表現」 大蔵省印刷局、昭和61年。

調査 1

名前： 性： 年齢： 職業：

日本人はどんな状況（左の欄に書かれている）では、どんな代名詞（上欄の横に書かれている）を使っていると思いますか。 状況と代名詞が一致する箇所に 0 印を記入してください。

	わたくし	わたし	ぼく	あたし	おれ	わたくしども	わたくしたち	わたしたち	ぼくら	ぼくら	あたしたち	おれたち
1. 男が使う。												
2. 女が使う。												
3. 男に使う。												
4. 女に使う。												
5. 第三者の男に使う。												
6. 第三者の女に使う。												
7. 自分より立場が高い人に使う。												
8. 自分と同じ立場の人に使う。												
9. 自分より立場が低い人に使う。												
10. 自分より立場が高い第三者に使う。												
11. 自分と同じ立場の第三者に使う。												
12. 自分より立場が低い第三者に使う。												
13. 自分より年上の人に使う。												
14. 自分と同じ年の人に使う。												
15. 自分より年下の人に使う。												
16. 自分より年上の第三者に使う。												
17. 自分と同じ年の第三者に使う。												
18. 自分より年下の第三者に使う。												

	あなた	あんた	きみ	おまえ	あなたがた	あなたたち	きみたち	きみら	おまえたち	あんたたち	あんたら
1. 男が使う。											
2. 女が使う。											
3. 男に使う。											
4. 女に使う。											
5. 第三者の男に使う。											
6. 第三者の女に使う。											
7. 自分より立場が高い人に使う。											
8. 自分と同じ立場の人に使う。											
9. 自分より立場が低い人に使う。											
10. 自分より立場が高い第三者に使う。											
11. 自分と同じ立場の第三者に使う。											
12. 自分より立場が低い第三者に使う。											
13. 自分より年上の人に使う。											
14. 自分と同じ年の人に使う。											
15. 自分より年下の人に使う。											
16. 自分より年上の第三者に使う。											
17. 自分と同じ年の第三者に使う。											
18. 自分より年下の第三者に使う。											

	かれ	かのじよ	かれたち	かのじよたち	あいつ	やつ
1. 男が使う。						
2. 女が使う。						
3. 男に使う。						
4. 女に使う。						
5. 第三者の男に使う。						
6. 第三者の女に使う。						
7. 自分より立場が高い人に使う。						
8. 自分と同じ立場の人に使う。						
9. 自分より立場が低い人に使う。						
10. 自分より立場が高い第三者に使う。						
11. 自分と同じ立場の第三者に使う。						
12. 自分より立場が低い第三者に使う。						
13. 自分より年上の人に使う。						
14. 自分と同じ年の人に使う。						
15. 自分より年下の人に使う。						
16. 自分より年上の第三者に使う。						
17. 自分と同じ年の第三者に使う。						
18. 自分より年下の第三者に使う。						

調査 2

次の 29 の代名詞について、あなたは「丁寧である」と思いますか。「丁寧さが大変欠けている」から「大変丁寧である」までの 5つの欄、どれかに 0 印をつけて下さい。

代名詞	①丁寧さが大変欠けている	②丁寧さがやや欠けている	③普通	④やや丁寧である	⑤大変丁寧である
1. ぼくたち					
2. あなたがた					
3. わたくし					
4. あなた					
5. きみら					
6. わたくしども					
7. あいつ					
8. あたし					
9. あんたら					
10. わたくしたち					
11. かれ					
12. おまえ					
13. ぼくら					
14. わたしたち					
15. おれ					
16. あんた					
17. かのじょたち					
18. おれたち					
19. ぼく					
20. きみたち					
21. かのじょ					
22. あなたたち					
23. わたし					
24. かれたち					
25. おまえたち					
26. やつ					
27. きみ					
28. あんたたち					
29. あたしたち					